PRESS RELEASE

近畿大学 KINKI UNIVERSITY

株式会社 神戸物産

2012 年 7 月 2 日

レストランに大学生のセンスとエネルギーを！

＜神戸物産×近畿大学＞ 「食」と「アート」のコラボレーション

—— 芸術学生制作の油絵を店内展示 ——

業務スーパーのフランチャイズ本部である株式会社神戸物産（本社：兵庫県加古郡稲美町、代表取締役社長：沼田博和、以下：神戸物産）の関連会社、株式会社神戸クック（本社：兵庫県加古川市神野町、代表取締役社長：岡﨑裕輔、以下：神戸クック）が FC 展開するレストラン「Green'sK 鉄板ビュッフェ」の店内に、近畿大学文芸学部（大阪府東大阪市）で芸術を学ぶ学生が制作した油絵を飾ることになりました。すでに、神戸市内と大阪市内のレストランに展示されています。今後、さらに多くの店舗での展示を行なっていく予定です。

現在、神戸市西区枝吉の「Green'sK 鉄板ビュッフェ枝吉店」に 2 点、大阪市平野区長吉長原西の「Green'sK 鉄板ビュッフェ長吉店」に 2 点、油絵が展示されています。制作したのは、いずれも同学部芸術学科造形芸術専攻で油彩画のゼミに所属する学生たちです。枝吉店には内田文子さん（3 年生）と為広渓さん（2 年生）、長吉店には溝口亜紗さんと砂山千紘さん（いずれも 2 年生）の作品が、それぞれ採用されました。

神戸物産グループは、原材料の生産（1 次産業）から加工（2 次産業）、販売（3 次産業）までを一貫して行う製販一体体制を確立し、安全・安心な食品をベストプライスで提供しています。レストラン「Green'sK 鉄板ビュッフェ」は、お客様にお好みのオリジナルメニューを作っていただける「セルフクック」の楽しさを取り入れた新感覚ビュッフェスタイルの店舗です。

神戸物産と近畿大学のコラボレーションは、近畿大学と産学連携に関する協定を結んでいる三井住友銀行が、取引先である神戸物産のニーズを近畿大学側に伝えたことで始まりました。
その中で、「若いエネルギーにあふれた絵画で店舗の雰囲気を変えてみたい」「作品の発表場所を提供することで学生さんを応援したい」との思いを抱いた同社商品開発部門の松村敦子部門長が、近畿大学文芸学部芸術学科の岩岡航路教授と岡本清文准教授に持ちかけ、それに対し、芸術学科として積極的に取り組むことになりました。

■報道関係からのお問い合わせ先
近畿大学　　総務部広報課　担当：角野、澤田
TEL：（06）6730－5880〔内線：2023、2024〕Email：koho@msa.kindai.ac.jp
(株)神戸物産　広報担当：天川
TEL：（079）496－6517Email：amakawa@kobebussan.co.jp

こうして両者の共同研究がスタートし、神戸物産側のニーズは「店舗のインテリアとしての油絵」と決定。これを受けて文芸学部では、造形芸術専攻の学生を対象に学内公募をかけ、プロジェクト参加者を募りました。

応募した学生たちは、まず、エスキース（下描き）を示し、画題や仕上がりの雰囲気をクライアントである神戸物産サイドにプレゼンテーションします。自分が過去に手がけた作品を駆使してアピールしたり、逆にクライアントからさまざまな要望を投げかけられたり、このような経験は、学生たちにとって新鮮な体験だったといいます。

クライアントによる審査で選ばれた学生 7 人が、およそ 1 ヵ月半をかけ、それぞれ 1 点、計 7 点の作品を完成させました。すでに展示されているのは、このうちの 4 点です。

神戸物産では今後、残る作品 3 点を順次、「Green'sK 鉄板ビュッフェ天神橋筋三丁目店」（大阪市北区）と同門真店（大阪府門真市）、同黒田店（和歌山市）に展示していきます。また今後、レストラン事業拡大に伴い、関東の大学にも働きかけるなど産学連携プロジェクトを推進していく方針です。

今回のプロジェクトについて、神戸クックの岡崎裕輔代表取締役社長は「外食産業の競争が激化する中、オリジナリティーあふれる店舗づくりを進めなければ勝ち残れません。Green'sK 鉄板ビュッフェは『食』と『楽しさ』を融合させた店舗。その空間に学生さんの若いエネルギーあふれる油絵を展示することで有機的な店舗になり、話題性も上がります。とても良い取り組みができたと感じています」と話しています。

一方、制作指導にあたった近畿大学文芸学部芸術学科の岩岡航路教授は「自分の好みではなくパブリックな空間を意識した企画、単なる思いつきではなく完成形の明確なビジョンとしてエスキース（下描き）を描くこと、そして、約束した期限内に完成させる責任感。クライアントと向き合いながら制作した経験から、学生たちが学んだものは大きいと思います」と語ります。

油絵を制作した溝口亜紗さん（2 年）は「個人としての表現ではなく、実際の店内にふさわしいものをつくることを意識して制作しました。社会とのつながりが体感でき、普段の授業では得られない貴重な経験となりました」と話しています。

■報道関係からのお問い合わせ先

近畿大学　　総務部広報課　担当：角野、澤田

TEL：（06）6730－5880〔内線：2023、2024〕Email：koho@msa.kindai.ac.jp

(株)神戸物産　広報担当：天川

TEL：（079）496－6517Email：amakawa@kobebussan.co.jp

PRESS RELEASE

2012 年 7 月 2 日









【写真㊧㊤】鉄板ビュッフェ長吉店に展示中の作品 【㊧㊥】同枝吉店に展示中の作品 【㊨㊤】同長吉店に展示中の作品と学生たち 【㊦】本部キャンパスでの学生たち

■報道関係からのお問い合わせ先

近畿大学　　総務部広報課　担当:角野、澤田

TEL:（06）6730－5880〔内線:2023、2024〕Email: koho@msa.kindai.ac.jp

(株)神戸物産　広報担当:天川

TEL:（079）496－6517Email: amakawa@kobebussan.co.jp